つるみこくさいこうりゅう
鶴見国際交流ラウンジニュース
Tsurumi International Lounge News
手をつなごう！つるみ
2022･7-9
No.70

☆・☆　５月度おしゃべり会の報告　☆・☆

日常生活でテレビを見ることは多いと思いますが、５月１１日（水）に開催されたおしゃべり会は日本放送協会（以降、NHK）の「視聴者の声を聴く」活動として「テレビを語ろう、いのちを守ろう」というテーマで、テレビについて内外の参加者の皆さんといろいろなおしゃべりをする会となりました。

鶴見ラウンジ研修室とZoomによるオンラインの同時開催としましたが、ラウンジにはブラジル、ペルー、ボリビア、インドネシア、中国の参加者の方々と日本人参加者、NHKの皆様、情報部会事務局の２０名、オンラインではベトナムからの参加者と日本人の参加者の６名、総勢２６名というたくさんの方々の参加がありました。

←ラウンジ　　↓オンライン

テレビについて語ろう

はじめにNHKが放送している主な番組のジャンルの紹介がありました。外国の方に見たことがあるNHKの番組を聞いたところ、『マッサン』『おかあさんといっしょ』」などがあがり、外国の方にもなじみがあることがわかりました。

自分の国で人気がある番組は？と聞くと、「ブラジルではサッカーが人気でみんな見ます」。インドネシアの方の好きな番組はドラマで、韓国のドラマが放送されているそうです。ベトナムではエンターテインメントものが多く、クイズ番組もあるとか。ここ最近はやっているのはストリートダンスの番組で、若者にとても人気があるそうです。ボリビアではNHKの番組が見られるようになりました。すでに「ちむどんどん」も放送されているそうです。ボリビアとの１３時間半の時差があるため、ボリビアにいた時は朝ドラを晩御飯の時に「夜ドラ」として見ていたとか！

中国の方の好きなのは料理番組。奥さんも見るそうです。ブラジルの方は日本語があまりわからないのでインターネットでブラジルの番組を見るとのこと。ニュースはよく見るそうです。

ベトナムの方はNHKが大好きで、「旅行とか料理の番組が豊富で好きになりました。字幕が出るので、聞いてわからなくても字を読んでわかるのでとても好きです」。また天気予報の情報がとても詳しくて、そこはベトナムの天気予報と大きく違う点だそうです。とても日本語がじょうずな方ですが、それは「日本のテレビを見ているおかげ。もっとがんばりたい」とおっしゃっていました。

ボリビアの方はクイズ番組が好きとのこと。「日本に来た時はテレビで何を言っているかわからなくて、おわらいも何がおかしいかわからなかった。でもだんだんいろいろなことがわかってきました」。天気予報のおねえさんがとてもきれいでおしゃれ。「ファッションの参考になります。ボリビアの天気予報のおねえさんはとてもセクシーで大胆」で、おねえさんに注目が集まるそうです。

ペルーの方は「おわらいは全然わからない。おもしろくない」。家を紹介する番組で「これはいくら。これはいくらと値段を言うのはとても不思議に感じた。ペルーではふつうは家を見せるけれど、家電や家具などのお値段は言わない」。

NHKの情報アプリで大事な情報が得られる

次にNHKの情報アプリの紹介がありました。参加者はまず、「NHK WORLD JAPAN」という無料のアプリをスマホにダウンロード。（右のQRコード）

地震がおきた場合にどうするかを聞いたところ、地震も津波も起こっているインドネシアの方は「テレビをつけてニュースを見ます」。同じく地震が多いペルーの方は、建物が壊れるので外に避難するというペルーの習慣で、東日本大震災の時はひとりで5階の自宅から1階の駐車場まで逃げたそうです。

NHKでは津波が来た時に「すぐにげて」という画面がテレビに出ます。ニュース防災アプリでも他のテレビ局よりも早く情報を発信しています。「緊急地震速報」という画像が地図とともにテレビの画面に出た時は、すぐに地震が来るという情報を届けています。字が読めなくてもわかりやすく、安全なところに逃げるように案内しています。

『NHK WORLD JAPAN』は日本に住んでいる外国の方々のために母国語で情報を得られるように力を入れています。海外のテレビではNHKのニュースや番組を24時間見ることができて、日本ではパソコンやスマホで無料で見ることができます。言語も21か国語に対応。

重要なのはアプリをダウンロードすればスマホで地震や津波の情報が得られるということ。⇒英語、中国語、ベトナム語、ポルトガル語で見ることができます。

このアプリでは「日本語を学ぼう」というコンテンツもあるので勉強に役立ちます。日本語の学習者にお勧めしたいですね。料理番組もあるそうです。料理番組が好きという中国の方にもお勧めしました。

『ちむどんどん』の紹介

最後に放送中の『ちむどんどん』について紹介がありました。見ている方と聞いたら何人もの参加者が手をあげました。忙しい朝の15分間にドラマを見るのはむずかしいですが、これが日本人の習慣になり、その第106作目が『ちむどんどん』。沖縄と鶴見が物語の舞台です。沖縄で生まれ育ったヒロインが鶴見に住

み、料理人になるという夢を追いかけるという話です。

ボリビアの方は家族が沖縄出身なので「沖縄というと『家族』です」。祖父母が沖縄からボリビアに移住したそうで、「おばあちゃんの料理を食べて育ったのですが、日本に来て沖縄の料理を食べたらおばあちゃんの料理だったので、おばあちゃんは沖縄の文化を伝えてくれていたんだなとわかった」そうです。ジューシーとかそばとか、誕生日にはサーターアンダーギーをたくさん作ってくれたそうです。

『ちむどんどん』でヒロインが鶴見に住んだのは、そうした昔の沖縄が残っているからで、「ちむどんどん」とは沖縄の言葉でこころ（ちむ）がわくわく（どんどん）するという意味。鶴見でのストーリーを楽しんでくださいとのことでした。

参加者の方々からは「楽しかった」「鶴見のことが改めてわかってよかった」「せっかくの良い情報をもっとたくさんの人に伝えられたらいい」「海外に移住した方が日本のテレビ番組を見てなつかしく思ってくれたということが印象的だった」「防災の情報が得られるというので参加したが、『NHK WORLD JAPAN』について知ることができてよかった」「海外にいても日本の番組が見られるとまるで日本にいるような気になる」「これからもいろいろと勉強したい」「『NHK WORLD JAPAN』のアプリを学習者に伝えたい」「海外にいて字幕があって助かった経験があるので日本のテレビでも字幕が出る機能があればいい」「『NHK WORLD JAPAN』の言語に日本語がないので海外にいて日本のことが知りたいとか日本語の勉強がしたい人のためには日本語があると良いのでは」といった感想がありました。

日本のテレビの話題から、国際的な情報アプリの紹介、災害時の情報提供などあらためてテレビの役割について知りました。また海外のテレビ事情、人気番組など興味深いおしゃべりがたくさん聞けました。そして朝ドラ『ちむどんどん』の紹介をとおして鶴見と沖縄、ボリビアと沖縄のつながりなども知ることができて、とても楽しくて有意義な時間となりました。

～多言語版～

English　中文　한글　Português　Tagalog　Español　tiếng Việt

手をつなごう！つるみ

【特集】NHKのあさのドラマ『ちむどんどん』に横浜市鶴見区が登場しています！

４月から放送がはじまったNHKの朝のテレビドラマ『ちむどんどん』では、沖縄で生まれたヒロインが料理人になることをめざして、鶴見区に住みながら、料理の勉強をします。

↓おきなわいしょうの わっくん

昔、日本中から多くの人が働くために鶴見区に集まりました。

ドラマのストーリーのように、沖縄からも多くの人が働くために鶴見区に集まり、暮らし、そこは「沖縄タウン」と呼ばれるようになりました。

今でも鶴見区には沖縄の料理屋や、踊り、音楽、イベントがたくさんあります。

ドラマのタイトルの『ちむどんどん』は、**沖縄の言葉で「心がどきどきする、わくわくする」という意味**です。みなさんも一緒にドラマを楽しみ、鶴見区のいいところをたくさん見つけて、「ちむどんどん」してくださいね。

○ウェブサイトで鶴見区のスポット・イベントを紹介しています。

Twitter、Instagram、YouTubeでも見ることができます！

○鶴見区を紹介するムービーでは

沖縄、南米が登場します！

【ストーリー】

ヒロイン・比嘉暢子は、沖縄で生まれ育ち、兄、姉や妹がいます。

沖縄が日本に返還された年（1972年）に東京へ行き、イタリアンレストランでシェフをめざして働きはじめます。住んでいるのは横浜市鶴見区。鶴見区は戦前から、働くために沖縄から多くの人が移り住んだ町でした。

４兄妹の50年間を見つめる、笑って泣ける、美しい家族とふるさとの話です。

《放送時間》月曜日～土曜日　朝８時～８時15分

※土曜日は１週間分をまとめて放送しています。

シークワーサー↓

↑シーサー（おきなわの まもりがみ）

編集・発行：鶴見国際交流ラウンジ情報部会　URL https://www.tsurumilounge.com

横浜市鶴見区鶴見中央1-31-2　電話045-511-5311　ファックス 045-511-5312

猪瀬朝子、井上愛子、伊賀久美子

翻訳：長井美春、山下伊澄、申水貞、石原みどり、長谷川スーン、安部香代子、レ・ダン・コア